

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 165 (通算 463 回)

2010 年 6 月 14 日 (月)

どんな学生をいかに巻き込むか——

活力ある学習支援センターの組織と運営

～スタッフ構成/サービス内容/スペース/運営方式/活動実績/評価と今後～

- ※ 学力の核心/リメディアル教育の現段階/総合的な学習支援プログラムの提案/支援センターの役割
- ※ [聖学院大] 能動的学習支援～5年間の活動/待ちの姿勢と助言/成功例・失敗例からの示唆
- ※ [関東学院大] 学生支援室～開設と歩み/活動内容と方針/教職員・学生メンター制度の試行/今後
- ※ [日本工業大] 青年期の大学生支援/初年次教育とリメディアル/設備とスタッフ/学修支援の成果と可能性
- ※ [パネル討論] 活力ある学習・学修支援センターの明日を拓く

● 講師・パネリスト陣 ●

小野 博 氏 / 昭和大学 客員教授・メディア教育開発センター 名誉教授
日本リメディアル教育学会 ファウンダー

佐藤 逸子 氏 / 聖学院大学 特任講師・ラーニングセンター 副所長

金田 徹 氏 / 関東学院大学 教授・元教務部長

たなかよしこ 氏 / 日本工業大学 学修支援センター 准教授

■ 企画協力 小野 博 氏

2010 年 6 月 14 日 (月) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時: 2010 年 6 月 14 日 (月) 13:00~17:00

会場: 剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス: 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」
麹町口より徒歩 10 分

※会場の地図及び受講証を送付しますので
必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料代込)

41,000 円 (消費税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)

42,000 円 (送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しませんので、申し込まれた方
の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ

FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

全ての口座名 < (株) 地域科学研究会 >

※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel: 03 (3234) 1231 / Fax: 03 (3234) 4993

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 165

2010 年 月 日

活力ある学習支援センターの組織と運営

当日参加 メディア参加

(に 印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00) 13:40	<p>□ リメディアル教育の現状と学習支援センターの役割 ～総合的な学習支援プログラムの提案～ 昭和大学 小野 博</p> <p>1. 現代の大学生の資質と学力低下の現状 (1) 基礎学力の低下 (2) 基礎・基本的知識の欠如 (3) 日本語コミュニケーション能力の低下</p> <p>2. リメディアル教育の現状 (1) 入学前・初年次・リメディアル教育 (2) リメディアル教育におけるメディアの利用 (3) 効果的なリメディアル教育成立のポイント</p> <p>3. 総合的な学習支援プログラムと今後の展開 (1) 日本語コミュニケーション能力の育成 (2) 学力向上の成功体験による「自律した学習者」の育成 (3) 専門課程で必要なリメディアルの学習内容の選別 (4) 「リメディアル教育のなくなる日」を目指して 〈質疑応答〉</p>
13:50) 14:30	<p>□ [聖学院大] 能動的学習支援の試みと達成度の今 ～5年間のラーニングセンターの活動を通して～ 聖学院大学 佐藤 逸子</p> <p>1. 設置の目的 (1) 基礎学力の向上 (2) スキルアップ・ステップアップ (3) メディア機器の活用</p> <p>2. 活動方針 待ちの姿勢と助言</p> <p>3. 活動の実際 (1) 相談内容 (2) 他との連携 (3) 指導の留意点 (4) 成功例と失敗例の示唆すること 〈質疑応答〉</p> <p>4. 明日への展開</p>
14:40) 15:20	<p>□ [関東学院大] 学生支援室における事例紹介 ～学習支援と学生支援の連携～ 関東学院大学 金田 徹</p> <p>1. 学生支援室 ACSEL 開設までの背景 (1) 事務局の要望 (2) 工学部の要望 (3) 2つの要望の合流</p> <p>2. 開設以後の経緯 (1) 一年目 (2) 四年目 (3) 現在 (英語・数学・物理・化学・生物・情報・法学基礎の学修サポート)</p> <p>3. 学生とかかわるスタッフの方針</p> <p>4. 教職員・学生メンター制度の試行</p> <p>5. 今後の課題 (1) リメディアル教材のオンラインコース (2) Eポートフォリオの活用 〈質疑応答〉 (3) その他</p>
15:30) 16:10	<p>□ [日本工業大] 青年期の大学生を支援する「学修」支援の取り組みと実際 ～入口、在学中、そして出口、のトータルサポート～ 日本工業大学 たなかよしこ</p> <p>1. 大学生と青年期後期の発達課題 (1) 大学時代をいかに過ごすか (2) 「学士力」「社会人基礎力」との関わり</p> <p>2. 高等教育における初年次教育とリメディアル (1) さまざまな視点からの学力を考える (2) 中等教育までで育てられる力 (3) 高等教育で育てる力</p> <p>3. 学修支援の目指すところ (1) 学修支援の設備とスタッフ (2) 退学した学生への学修支援の成果 (3) 支援教育の可能性 〈質疑応答〉</p>
16:20) 17:00	<p>□ [パネル討論] 活力ある学習支援センターの明日を拓く</p>